

電 子 納 品 成 果

本規程に従って作成される成果等を電子納品する際の標準的な仕様は次のとおりとする。

1. 電子媒体について

電子媒体はCD-R若しくはDVD-Rを原則とし、これにより難しい場合は計画機関と協議すること。

2. ウイルスチェックについて

電子納品する際は、その都度、必ずウイルスチェックを実施し、コンピューターウイルスが存在していないことを確認すること。なお、ウイルス対策ソフトは特に指定はしないが、信頼性の高いものを利用するものとする。

また、電子媒体にはウイルスチェックに関する情報（ウイルス対策ソフト名・ウイルス定義年月日・チェック年月日）を明記すること。

3. 成果データについて（整理番号1～27、30～34、37・38、42～47）

（1）成果データの電子媒体について

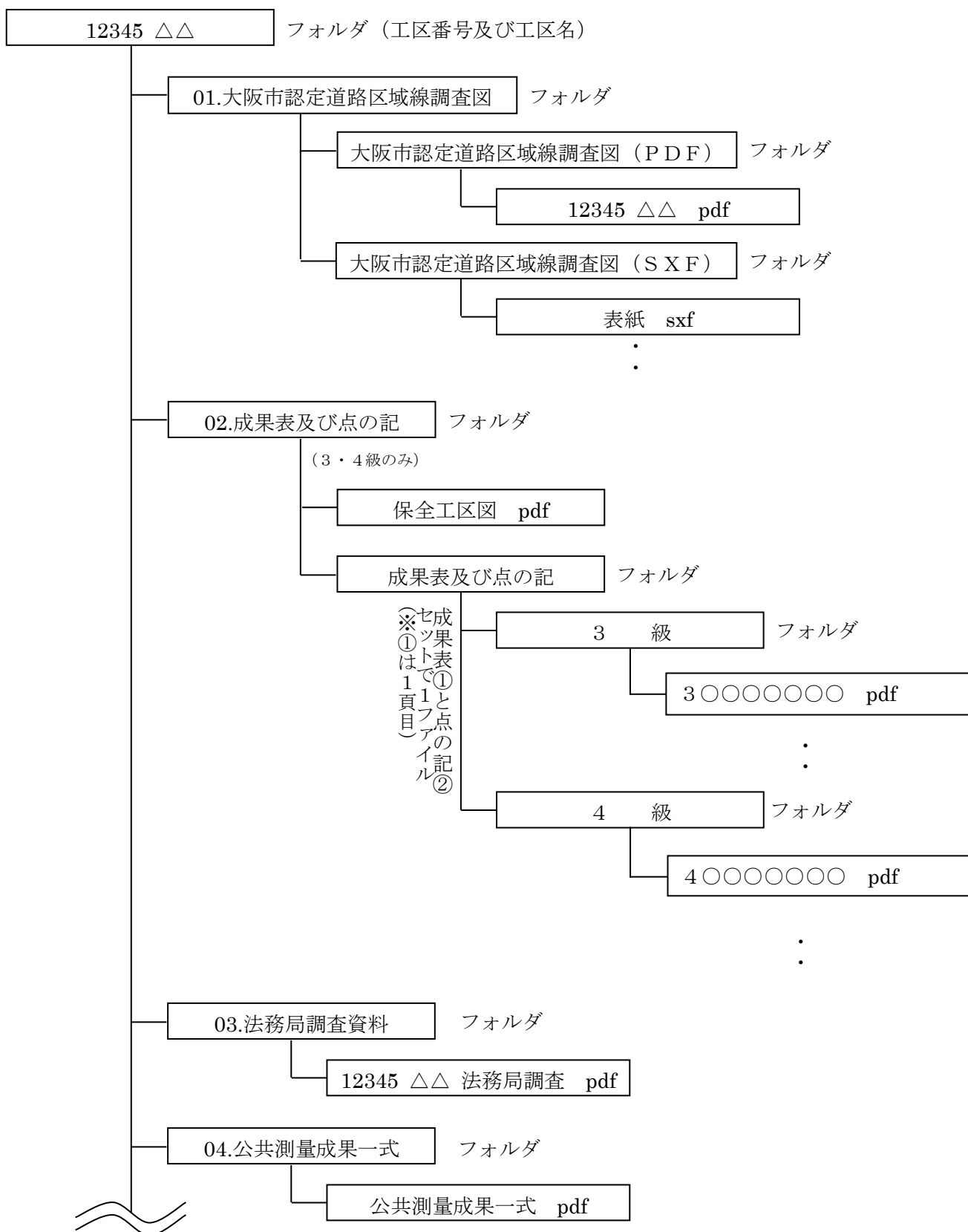
成果データの電子媒体には、「委託名称」「保全工区番号」「保全工区名」「データ内容」「作成年度(作成年月日)」「作成会社」を明記すること。

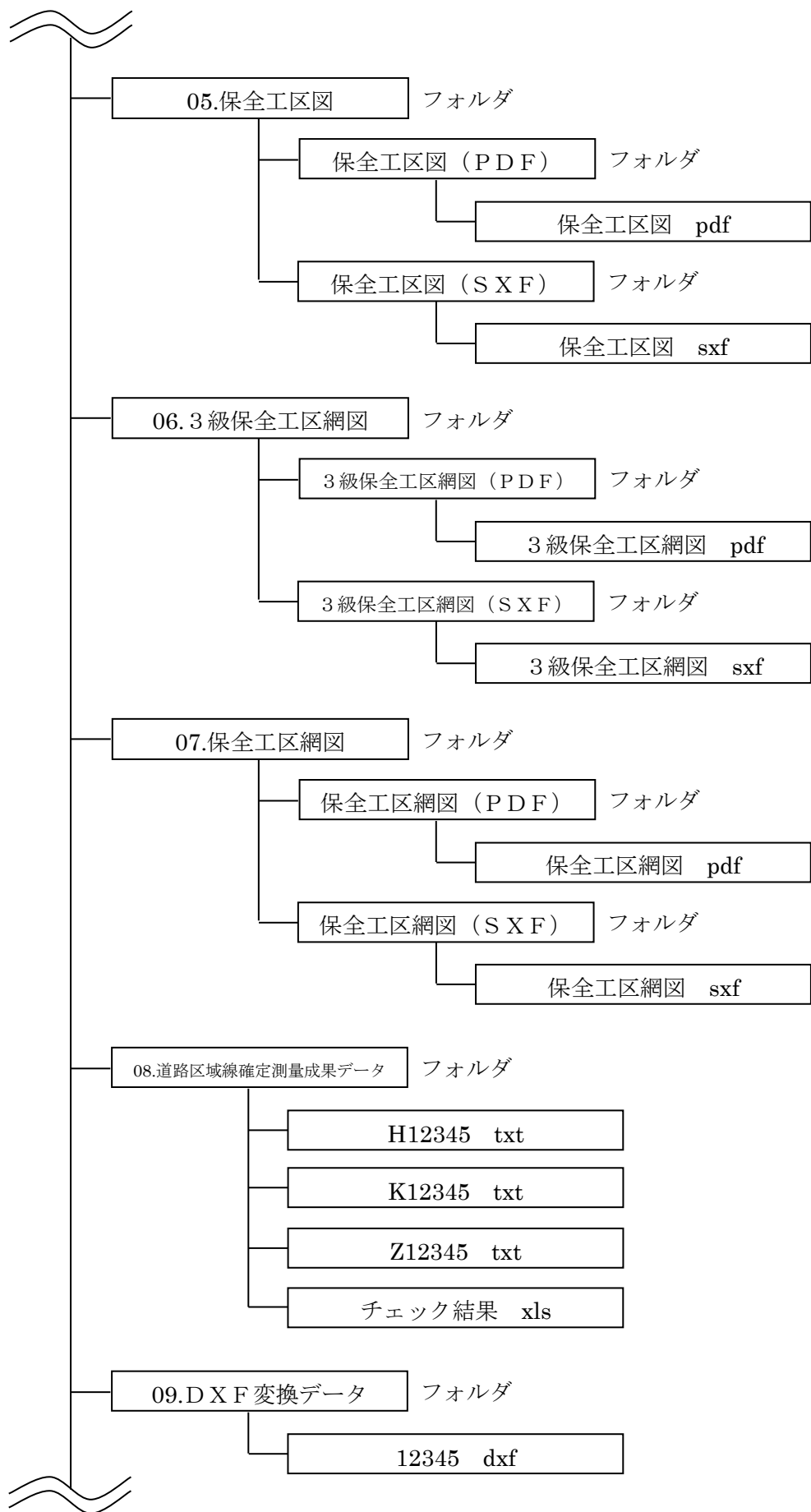
<成果データCD-Rレーベル（サンプル）>

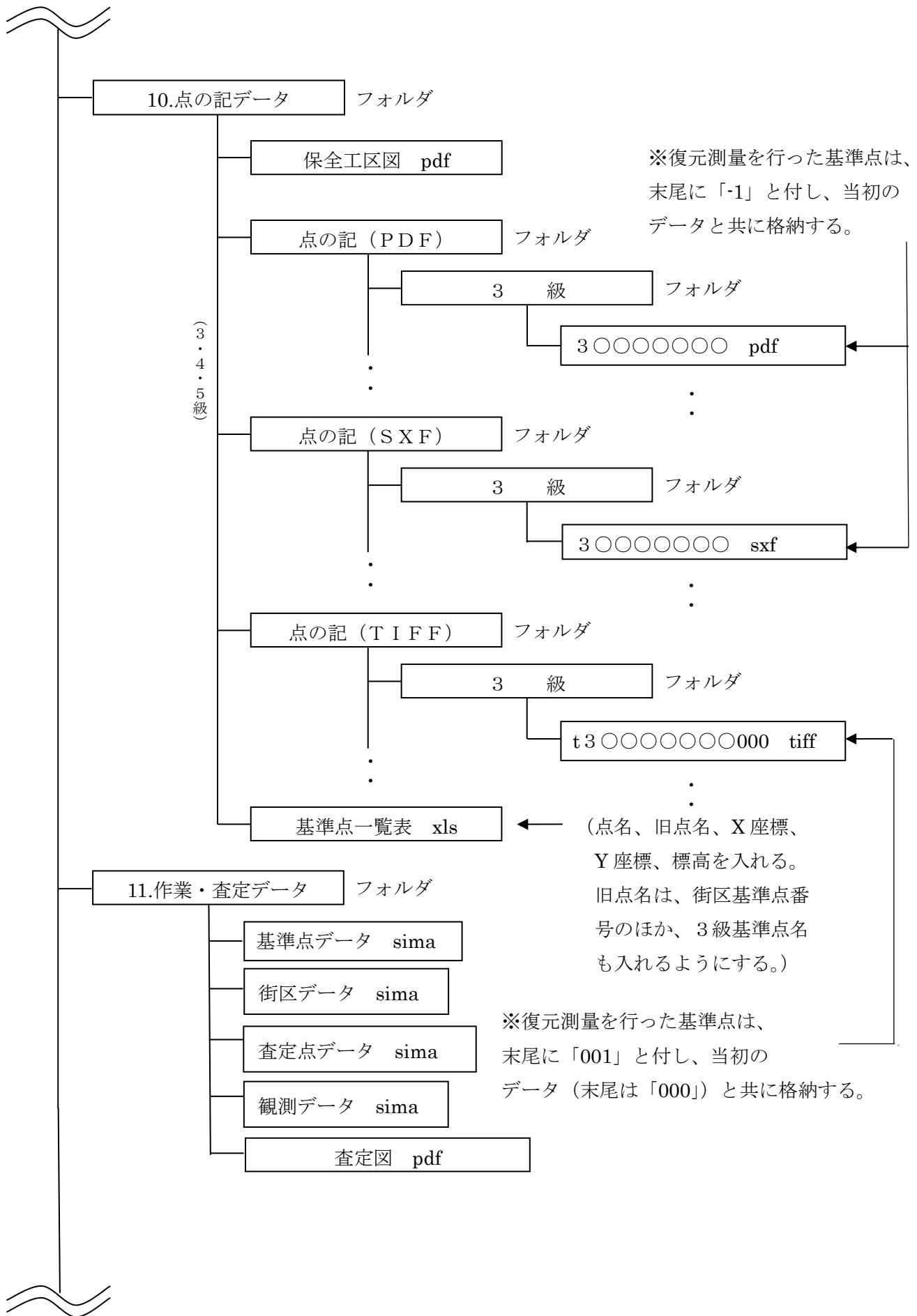


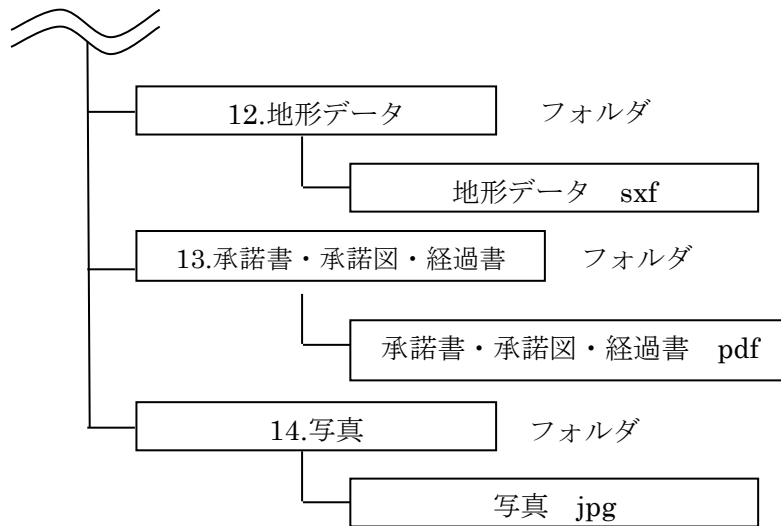
(2) 成果データの格納形式について

成果データの格納形式は次項を標準とする。









(2) 大阪市認定道路区域線調査図のPDFファイルについて

大阪市認定道路区域線調査図は、ひとつのPDFファイルにまとめ、サムネール及びしおりを付加すること。

なお、しおりの構成は次項を標準とする。

12345 △△

※工区番号と工区名

—	表紙	
—	内表紙	
—	目次	
—	位置図	
—	街区番号・大阪市公共基準点及び道路基準点番号図	
—	大阪市公共基準点及び道路基準点網図図郭割図	
	大阪市公共基準点及び道路基準点網図	
—	大阪市認定道路区域線調査図図郭割図	
	大阪市認定道路区域線調査図	※複数ページの場合は、ページごとにしおりを作成する。
—	— 1	
—	— 2	
—	精度管理図図郭割図	
	精度管理図	
—	道路中心点網図図郭割図	
	道路基中心点網図	
—	道路基準線及び道路区域線新旧対照図図郭割図	
	道路基準線及び道路区域線新旧対照図	
—	道路基準線と地先境界ブロック関係図図郭割図	
	道路基準線と地先境界ブロック関係図	
—	既明示点と確定点との比較図	
—	既明示点の問題箇所図	
—	街区面積比較図	
—	現況平面図図郭割図	
	現況平面図	
—	座標一覧表	
—	道路中心点番号読替表	
—	土地台帳付属地図編集図図郭割図	
	土地台帳付属地図編集図	
—	不明リスト	

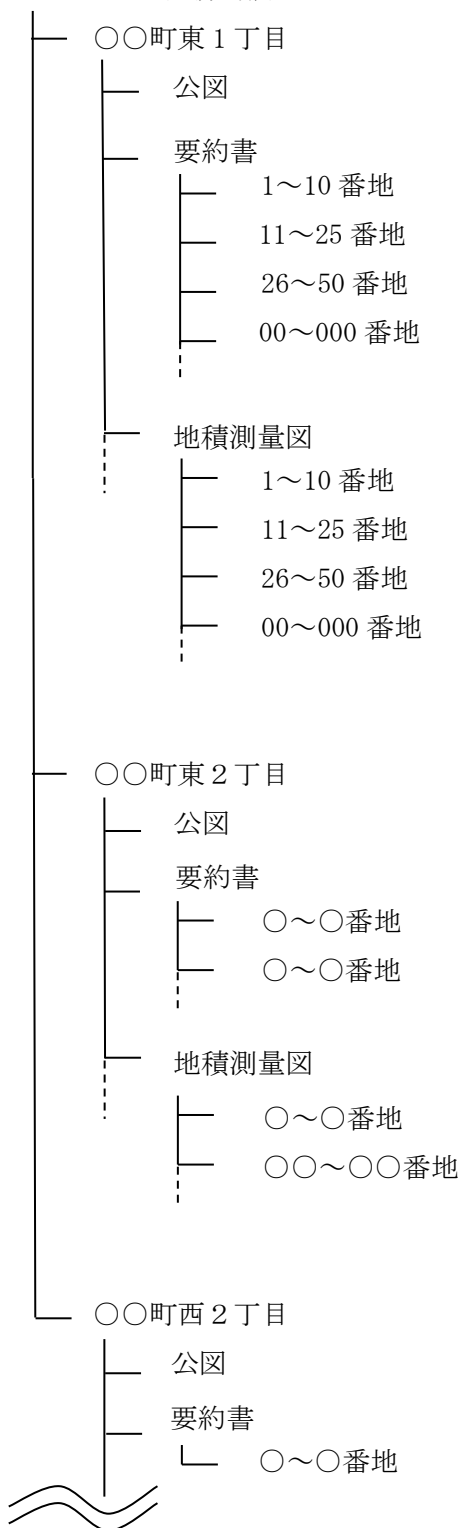
(4) 公図、地積測量図及び要約書（法務局調査資料）のPDFファイルについて

公図、地積測量図及び要約書は、ひとつのPDFファイルにまとめ、サムネール及びしおりを付加すること。また、データ容量により一つのファイルで保存できない場合は、複数のファイルで保存し、しおりでファイルをリンクさせること。

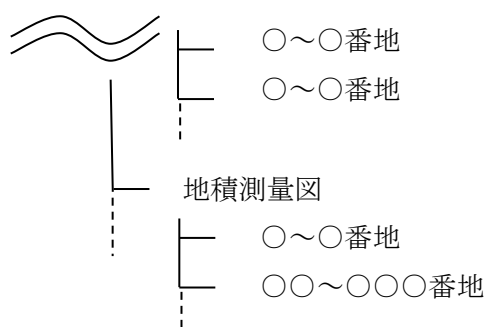
なお、しおりの構成は次項を標準とする。

12345 △△ 法務局調査

※工区番号と工区名



※公図等の枚数が多い場合は、
適度にまとめしおりを作成する。



4. 公共測量成果（国土地理院提出用）について（整理番号32）

（1）公共測量成果（国土地理院提出用）の電子媒体について

公共測量成果（国土地理院提出用）の電子媒体には、「助言番号」「測量地域」「データ内容」「作成年度(作成年月日)」「測量計画機関」「測量作業機関」を明記すること。

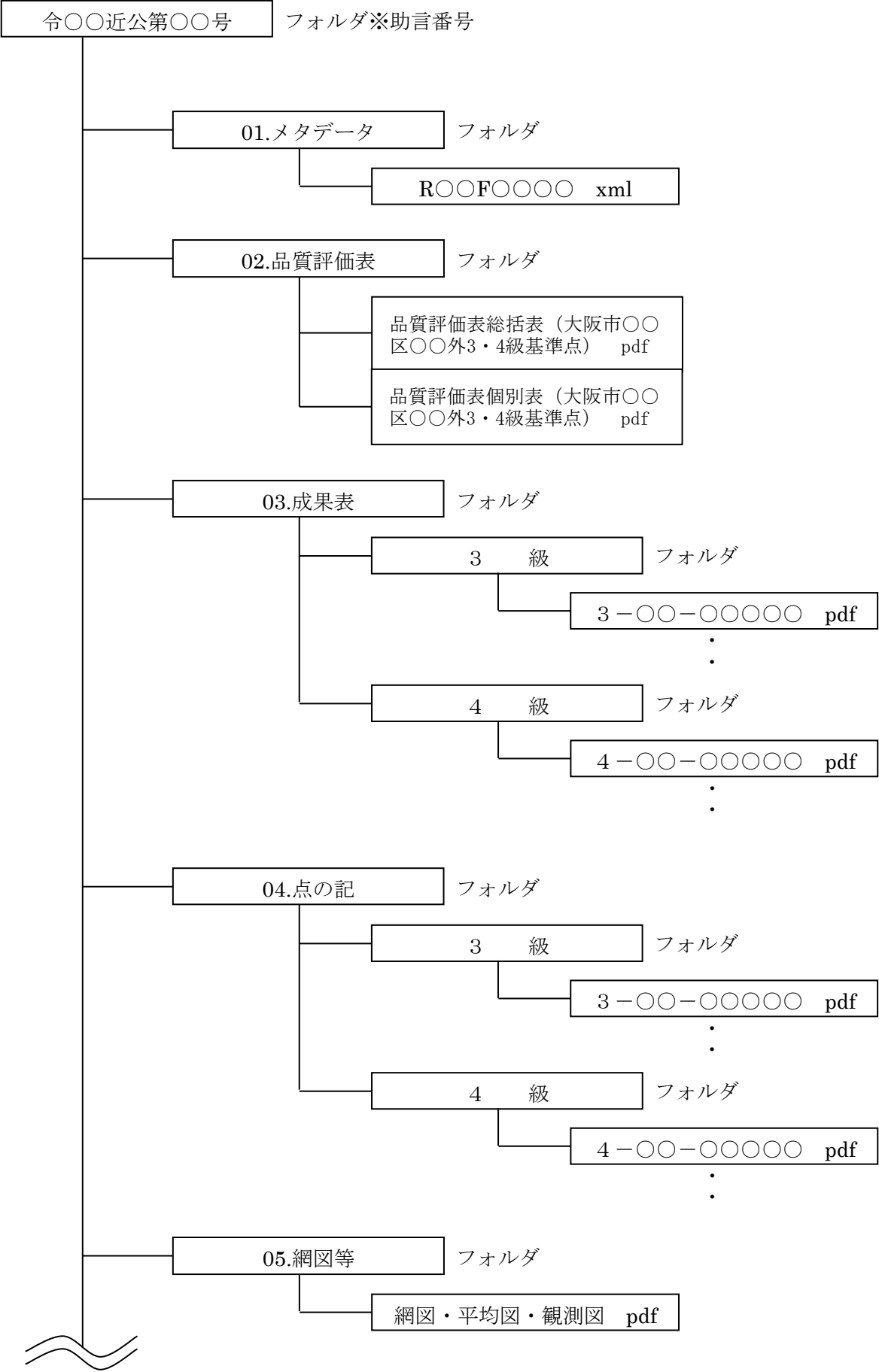
< 公共測量成果CD-Rレーベル（サンプル） >

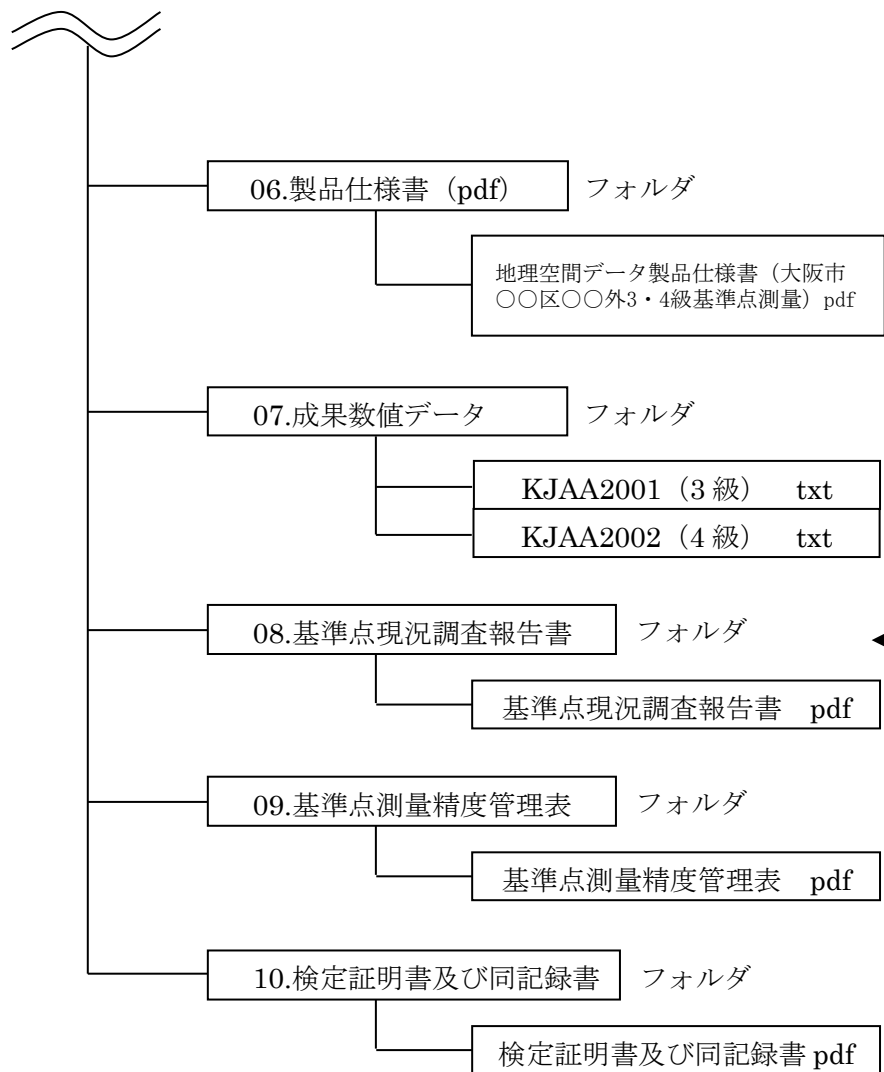


（2）公共測量成果（国土地理院提出用）の格納形式について

公共測量成果（国土地理院提出用）の格納形式は次項を標準とし、「国土地理院の助言（以下、助言という）」に従い作成及び提出すること。

なお、助言が複数ある場合は、助言番号毎に電子媒体を作成すること。





← ※国が設置した三角点を使用した時のみ作成する。

5. 大阪市3級公共基準点保全工区図・網図（基準点保全用）行政区単位について

（整理番号33～34）

（1）大阪市3級公共基準点保全工区図・網図（基準点保全用）行政区単位の電子媒体について

大阪市3級公共基準点保全工区図・網図（基準点保全用）行政区単位の電子媒体には、「行政区名」「データ内容」「更新年月日」を明記すること。

<大阪市3級公共基準点成果CD-Rレーベル（サンプル）>



（2）成果データの格納形式について

成果データの格納形式は次項を標準とする。

